

長沼温泉ぽっぽの湯

入浴者数 20万人に迫る

修繕箇所多くリニューアル必要

長沼温泉ぽっぽの湯は、運営協議会（大沼富美雄会長）が努力を続け、入浴者数は年々増加し、令和7年度20万人に迫り（19万8988人）、羽黒のゆぽか21万7102人に次ぎ、三川町の田田18万6803人より多い成績をあげています。

一方、開業から26年となり、施設・建物の経年劣化が激しくなっています。

令和5年度に源泉スケール除去工事をおこない、自噴量が大きく増量し、燃料費の削減にも効果がありました。しかし、経年劣化により修繕が必要な箇所が多くなっています。

市財政の健全化を理由に、旧町村の切り捨てにならないよう、必要な修繕やリニューア

ルを強く求めているかなければなりません。

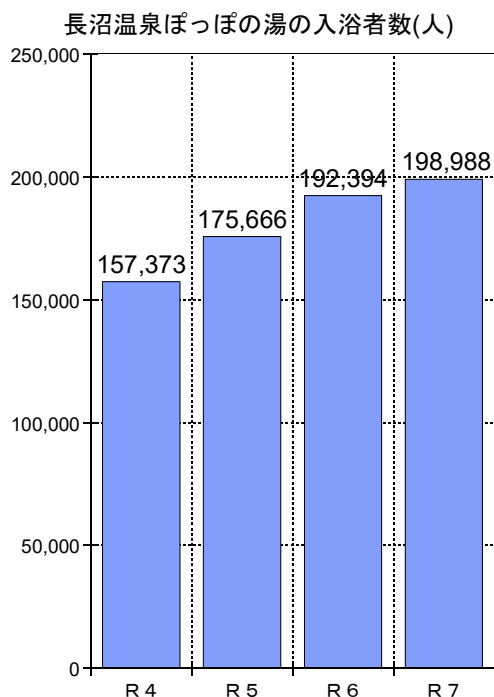
木材部分の腐食



屋根のモルタル剥がれ



浴室外部のサッシ劣化



露天側のサッシ劣化



露天風呂の柱腐食



義務教育学校の開校準備委開く

藤島地域義務教育学校の第1回開校準備委員会が30日、開かれまし

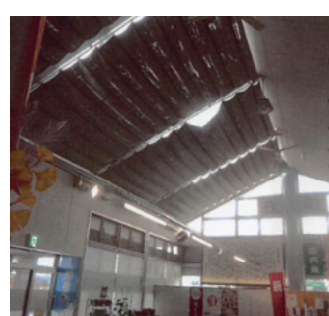
た。
委員の構成は、①自治会等の代表者（各地区の自治振興会長と町内会長会長）、②教職員の代表者（各小・中学校の校長、③保護者の代表者（各小・中のPTA代表、各保育園等の保護者会代表）からなります。

会長に齋藤昭彦・藤島地区自治振興会長、副会長に近藤直志・渡

露天浴槽タイル剥がれ



直売所の天井カーテンが外れ雨漏り



外部鉄板の錆



（写真・運営協議会）

他に、脱衣室の地盤沈下や、サウナ機械のメンテナンス、廊下や床の張り替え、断熱化、照明器具のLED化など、数多くの修繕箇所が生まれています。

前地区自治振興会長が選ばれました。

義務教育学校の開校が令和11年度、新校舎供用開始が14年度、8（9年度に基本計画と基本設計など、事業スケジュールを確認。

開校準備に向け、3つの検討部会（①総務部会、②学校部会、③PTA関係部会）で協議されます。

校名選定では、「鶴岡市立〇〇学園」とする案で、公募を経て進めるとしました。

JA庄内たがわ通常総代会が19日、三川町なの花ホールで開かれ、任期満了に伴う役員改選では、総会後の理事会で、海藤喜久男組合長を再任しました。



上林 淳・代表理事専務



加藤智・常務理事



成沢勝・常務理事



押切光久・代表監事（再



上野千賀子常勤監事



（写真…総代会資料）

渡前小子ども獅子踊り今昔物語

藁(わら)文化の里 ⑧

渡前獅子踊り保存会 太田 功

「装いも艶やかに新郎新婦のご入場です。」

結婚祝賀会が最高潮に達する場面だ。司会が一気にフィナーレへと誘う。和装から洋装に着替えてキャンドルサービスを行いながら各テーブルを回る場面である。

昭和50年代、高度経済成長の波もあり、農村社会にも近代的な大型施設が建設され始める。藤島中央公民館もその一つ。旧藤島小学校跡地に総工費2億4100万円で昭和53年11月に完成した。

一方、国の改善運動も戦前戦後と続き、公民館が出来上がった頃も行われていた。農林省では農業改良普及所を中心とした生活改善普及事業を、厚生省では栄養改善を中心に食生活改善運動を、文部省では社会教育分野で、婦人学級や青年学級を公民館活動の柱に据え行っていた。

昭和40年代、自宅や公民館の和室でおこなわれていた祝賀会は、藤島の農協ホール(現JA庄内たがわ本所)、中央公民館、商工会館(現出羽商工会藤島支所)へと場所を移し、お招きする人数を増やしたが、生活改善の決

まりで、実行委員会形式で行うこと、会費は2500円、ビールは出さない、などの決まりがあった。

初任の仕事が中央

公民館だった筆者は随分、結婚祝賀会の実行委員から相談を受け、前日のリハーサルにも会場担当として、関わることがあった。

冒頭の盛り上がる場面は、入口の天井近くに簡易の木箱を吊り下げ、中に100本を超える紙テープをセットし、入場とともにテープシャワーにするシーンだが、前日のチェックですべて落ちてしま



随分活躍した。

旦那でない人たちが抱きかかえられ、乗るのに一苦労。ドア上部にぶつからないよう馬の横腹にしがみつくと新婦も居た。

…(つづく)



制度改正も一緒に

今の与党、つまり自民党と日本維新の会が、国会議員数を減らす法案を国会に出すんだという。これは、維新が自民と一緒にいるについて2党の約束事なんだというが、どうも俺の常識では理解できない代物のようだ。

▲何を根拠にしたのかどんな理由なのか不明のまま、45議席を減らすんだという。それがまた、小選挙区と比例区がある中、比例を減らすんだと。比例は小選挙区と比べれば、選挙民の意思が正しく反映されるものだから、問題の多い小選挙区を減らすべきなんだが、でも、まず数をいじるんなら選挙制度改正と一緒にしなくっちゃ。

▲そんなことを考える事なく、全野党が議案に反対して提案に決着がつかないからと、委

員長が職権で議題にするんだと。これは数が多いからとゴリ押しする気なんだ。

▲小選挙区制が取り入れられる時の説明では、「政権交代が出来やすいように」というものであったが、40%台の得票数で80%近い議席を掠め取り、加えて多数の横暴だよ。

▲憲法明文には、「正当に選挙された国会における代表者を通じて」とありますから、問題が多くつても法律で決められているんだと言われるだろうが、数の横暴で決められた法律でもそうなるんだ。それを今回は議員数の削減をやるんだと。

▲みなさん理解できませんか。理解できるのは、国会とは、どうすれば自分らの政党に有利かを考える所なんだとは理解できるが。これが「国民のために」とよくいう与党議員さんのやり方だ。(石川)

晴景

晴景

城貞(藤の花)

風月春花何処宜
山川田圃愜幽期
尽之鶴阜勝区所
不識何攸応賦詩

風月 春花何れの処にて宜し
山川 田圃 幽期に愜う
尽く之 鶴阜 勝区の所
識らず何れの攸にか応に詩を賦すべきかと

自然の美しい風景は どこにいて眺めても、ふさわしいものである。
山川 田畑の平野の景色は 静寂を求める私の心を満足させてくれる。
どこを見渡しても すべて鶴岡地方は景色の良い所ばかりである。
いったい 何処の場所で詩を作ったらよいのだろうか。

晴景 晴れた日の景色。

山川 自然の景色。

宜 ふさわしい。

田圃 田と畑。

愜 氣にいる。

尽 すべて。

幽期 世俗を離れた静けさを得たいと言う望み。

勝区 景色のすぐれたところ。

識 心に感じる。

賦詩 詩を作る。

